

キャリア講演会「らいふらりー」

1学年生徒に向けたキャリア教育の一環として、昨年度より「らいふらりー」という社会人講話を実施しています。今年度は6月19日に実施しました。部活や授業で忙しく、学校外に出ていく機会の少ない緑高生に向けて、社会の第一線で働く大人の方々からのお話から、「人生は探究の連続である」ことを実感してほしい、講話を自身の生き方やキャリア選択について考えるきっかけにしてほしいという思いで始まった授業です。

講師には医師、日本語教師、裁判官、大学教授など高校生のイメージしやすい職業の方々から、電鉄会社、環境問題に取り組むアパレル企業、CM制作会社、幼児の遊び場づくりを行う企業といった多岐にわたるジャンルの社会人の方々に来ていただきました。生徒たちには講師についての詳細なプロフィールは明かさず、職業分野やキーワードだけの情報を与え、ピンとくる方のお話を聞くという形にしました。「らいふらりー」当日、生徒たちは、講師の方々のこれまでの歩み、ターニングポイントや進路選択でどのようなことを大切にしてきたのか等、色とりどりな人生についてのお話を伺いました。つい最近高校に入学したての生徒たちにとってまだ馴染みの薄い仕事についてのお話や、今後直面するであろう進路・キャリア選択についてのお話はとても刺激的で、メモを取る手が止まらない生徒も多く見受けられました。

事後学習では、お話を伺った講師が異なる生徒同士でグループをつくり、自分の聞いた講話の内容、印象に残ったフレーズやメッセージについて発表し、共有しました。発表からは、「失敗力をつけよう」、「人生は電車のようなもの。好きな電車に乗り換えよう」、「公私同根」など、それぞれの講話で届けられたメッセージが様々出ており、その様子から講師の方々からのメッセージがしっかりと生徒に刺さっているように感じられました。また、別の生徒が聞いた講話の内容を間接的にでも聞くことで、生徒一人ひとりが人生や進路選択について様々な考え方があると知るきっかけになったと思います。

生徒の感想は、以下のようなものがありました。

「学校の授業に対して、必要のないものもあると思っていたけれど、今回の講演を聞いて先入観を持たずに取り組むことで得られる経験が将来はつながっていくということを知り、授業の内容だけでなく、グループワークなどの交流も大切に、しっかりと取り組もうと思った。」

「『いつどこで自分のやりたい仕事に会うかわからない。だから日頃からアンテナをはって生きるといい』という言葉がお話を聞いてその通りだなと思いとても印象に残っています。」

「世界に目線を向けてやりたいことがしたいと思いました。また、研究の延長線上に社会貢献があるような打ち込み方をしたいなと思いました。」

「らいふらりー」の授業を通して、生徒一人ひとりが講師から受け取ったメッセージや思いをきっかけとし、今後の自分の生き方や進路選択を失敗しながらたくさん探究してほしいと思います。

事後学習の様子

